

平成 22 年度生理学研究所研究会

痛みの病態生理と神経・ 分子機構

開催期間：平成 21 年 12 月 3 日（金）13 時～4 日（土）12 時 35 分

[作成者名を入力してください]

提案代表者：倉石 泰（富山大学大学院医学薬学研究部 応用薬理学研究室）

所内対応者：富永 真琴（岡崎統合バイオサイエンスセンター 細胞生理部門）

12月3日(金)

12:30～ 受付

13:00 開会の挨拶

13:05～13:45 教育講演1

「痛みからの解放の歴史-戦争がもたらした痛みを巡って」

講師：小山なつ 先生（滋賀医科大学生理学講座統合生理学）

司会：倉石泰 先生（富山大学大学院医学薬学研究部応用薬理学研究室）

セッション1 進行係：田辺光男 先生（北里大学薬学部薬理学教室）

13:45～14:05

演題1「神経損傷後のアロディニア・断端痛に対するプレガバリン,モルヒネ,トラマドールの効果」

宮崎里佳, 山本達郎（熊本大学大学院生命科学研究部生体機能制御学）

14:05～14:25

演題2 「モルヒネ鎮痛耐性を制御するアンチオピオイド機構の解明」

三浦裕, 西建也, 荒木康平, 内田仁司, 黒須洋, 植田弘師（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子薬理学分野）

14:25～14:45

演題3「慢性疼痛におけるエピジェネティクス:疼痛関連遺伝子群のサイレンシング制御機構の解明」

内田仁司, 荒木康平, 植田弘師（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子薬理学分野）

14:45～15:00 コーヒーブレイク

セッション2 進行係：古江秀昌 先生（自然科学研究機構生理学研究所神経シグナル研究部門）

15:00～15:20

演題4 「腰痛の発生源としての胸腰筋膜」

田口徹¹, Ulrich HOHEISEL², Siegfried MENSE²（¹名古屋大学環境医学研究所神経系分野II, ²ハイデルベルグ大学医学部マンハイム, CBTM, 神経解剖学）

15:20～15:40

演題5「遅発性筋痛に関与するプロスタグランジン受容体について-ノックアウトマウスを用いた検討-」

太田大樹², 那須輝頓², 成宮周³, 水村和枝¹（¹名古屋大学環境医学研究所神経系分野II, ²目白大学健康科学部, ³京都大学大学院医学研究科神経細胞薬理学）

15:40～16:00

演題6 「皮膚癌性疼痛発生へのP2X₃プリン受容体の関与」

安東嗣修¹, 藤田真英¹, 佐々木淳¹, 済木育夫², 倉石泰¹（¹富山大学大学院医学薬学研究部応用薬理学, ²和漢医薬学総合研究所病態生化学）

16:00 ~ 16:20

演題 7 「帯状疱疹痛マウスモデルで生じる自発痛様行動における一酸化窒素合成酵素 2 の役割」
佐々木淳, 金山翔治, 安東嗣修, 倉石泰 (富山大学大学院医学薬学研究部応用薬理学)

16:20 ~ 16:35 コーヒーブレイク

セッション 3 進行係: 山本達郎 先生 (熊本大学大学院生命科学研究部生体機能制御学)

16:35 ~ 16:55

演題 8 「統合失調症患者における痛覚感受性の変化経伝達物質及び神経修飾物質に対する応答の相関関係」

中江文¹, 橋本亮太^{2,3}, 前田尚悟⁴, 奥知子⁴, 安達友紀⁵, 福本素由己³, 大井一高³, 安田由華³, 山森英長³, 酒井規広¹, 阪上学¹, 石垣尚一⁶, 上出寛子⁷, 萩平哲¹, 武田雅俊³, 柴田政彦⁸, 眞下節¹
(¹大阪大学大学院医学系研究科麻酔集中治療医学, ²大阪大学大学院金沢大学浜松医科大学連合小児発達学研究所子どものこころの分子統御機構研究センター, ³大阪大学大学院医学系研究科精神科学, ⁴日本光電株式会社, ⁵大阪大学大学院人間科学研究科, ⁶大阪大学大学院歯学系研究科歯科補綴学第一教室, ⁷大阪大学大学院基礎工学研究科, ⁸大阪大学大学院医学系研究科疼痛医学寄付講座)

16:55 ~ 17:15

演題 9 「片頭痛モデルラットにおける光応答性上部頸髄侵害受容ニューロン応答の可塑的变化」
人見涼露^{1,2}, 岡田明子³, I.D.Meng⁴, 岩田幸一¹ (¹日本大学歯学部生理学教室, ²摂食機能療法学講座, ³口腔診断学講座, ⁴University of New England)

17:15 ~ 17:35

演題 10 「舌および顔面皮膚の侵害受容器感作に対するグルタミン酸受容体の関与」
本田訓也^{1,2}, 篠田雅路², 岩田幸一² (¹日本大学歯学部口腔外科学教室第 2 講座, ²生理学教室)

17:35 ~ 17:50

演題 11 「ラット青斑核ノルアドレナリン細胞からの *in vivo* パッチクランプ記録」
杉山大介^{1,2}, 井本敬二^{1,3}, 川真田樹人², 古江秀昌^{1,3} (¹自然科学研究機構生理学研究所神経シグナル研究部門, ²信州大学麻酔蘇生学講座, ³総合研究大学院大学生命科学研究科)

17:50 ~ 18:30 教育講演 2

「痛覚伝導路は前側索を上行する脊髄視床路でいいか？」

講師: 山田仁三 先生 (東京国際大学人間社会学部)

司会: 熊本栄一 先生 (佐賀大学医学部生体構造機能学講座神経生理学分野)

18:40 ~ 懇親会

12月4日(土)

セッション4 進行係：水村和枝 先生(名古屋大学環境医学研究所神経系分野Ⅱ)

8:40~9:00

演題12 「イオンチャネルを用いた新しい局所麻酔薬の開発(第一報) -TRPV1, TRPA1, 及びTRPM8の比較」

中川 弘¹、樋浦明夫² (¹徳島大学医学部歯学部附属病院小児歯科, ²同大学歯学部口腔組織学教室)

9:00~9:20

演題13 「第一級アルコールによる炭素数依存的なTRPA1チャネル活性化機構」

内田邦敏^{1,2}, 小松朋子¹, 藤田郁尚³, 富永真琴^{1,2} (¹岡崎統合バイオサイエンスセンター(生理学研究所)細胞生理研究部門, ²総合研究大学院大学生命科学研究科生理科学専攻, ³株式会社マングラム中央研究所)

9:20~9:40

演題14 「成熟ラット脊髄膠様質, 痛覚シナプス伝達に対するTRPA1の役割について」

歌大介, 井本敬二, 古江秀昌(生理学研究所神経シグナル研究部門, 総合研究大学院大学生命科学研究科)

セッション5 進行係：篠田雅路 先生(日本大学歯学部生理学教室)

9:40~10:00

演題15 「脊髄膠様質の痛み伝達制御に働くTRPチャネルの活動電位伝導遮断物質による活性化」

熊本栄一, 岳海源, 朴蓮花, 井上将成, 蔣昌宇, 藤田亜美, 八坂敏一, 楊柳, 川崎弘貴, 上村聡子, 水田恒太郎(佐賀大学医学部生体構造機能学講座(神経生理学分野))

10:00~10:20

演題16 「がん性疼痛モデルマウスの脊髄後角における興奮性シナプス応答の変化の検討」

柳澤義和¹, 古江秀昌^{2,3}, 川股知之⁴, 歌大介², 古瀬晋吾⁵, 井本敬二^{2,3}, 吉村恵⁶ (¹吉塚林病院整形外科, ²自然科学研究機構生理学研究所神経シグナル研究部門, ³総合研究大学院生命科学研究所, ⁴信州大学医学部麻酔蘇生学講座, ⁵中村記念病院麻酔科, ⁶熊本保健科学大学大学院保健科学研究科)

10:20~10:40

演題17 「選択的セロトニン再取り込み阻害薬 fluvoxamine の脊髄後角一次求心性興奮性シナプス伝達レベルにおける疼痛抑制メカニズム」

友寄織江¹, 小野秀樹¹, 田辺光男^{1,2} (¹名古屋市立大学大学院薬学研究科中枢神経機能薬理学分野, ²北里大学薬学部薬理学教室)

10:40~10:55 コーヒーブレイク

セッション 6 進行係：富永真琴 先生（岡崎統合バイオサイエンスセンター細胞生理研究部門）

10:55 ~ 11:15

演題 18 「NAAG peptidase inhibitor である ZJ43 の PAG 投与による鎮痛効果」

山田寿彦，山本達郎（熊本大学大学院生命科学研究部生体機能制御学）

11:15 ~ 11:35

演題 19 「眼窩下神経損傷により発症する疼痛異常の中樞神経機構」

鈴木郁子，岩田幸一（日本大学歯学部生理学教室）

11:35 ~ 11:55

演題 20 「リゾホスファチジン酸誘発性神経因性疼痛における脊髄ミクログリアの機能的関与」

永井潤，馬琳，植田弘師（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子薬理学分野）

11:55 ~ 12:35 教育講演 3

「末梢神経性の神経障害性疼痛発生機序」

講師：植田弘師 先生（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子薬理学分野）

司会：眞下節 先生（大阪大学大学院医学系研究科麻酔集中治療医学）

12:35 閉会の挨拶